

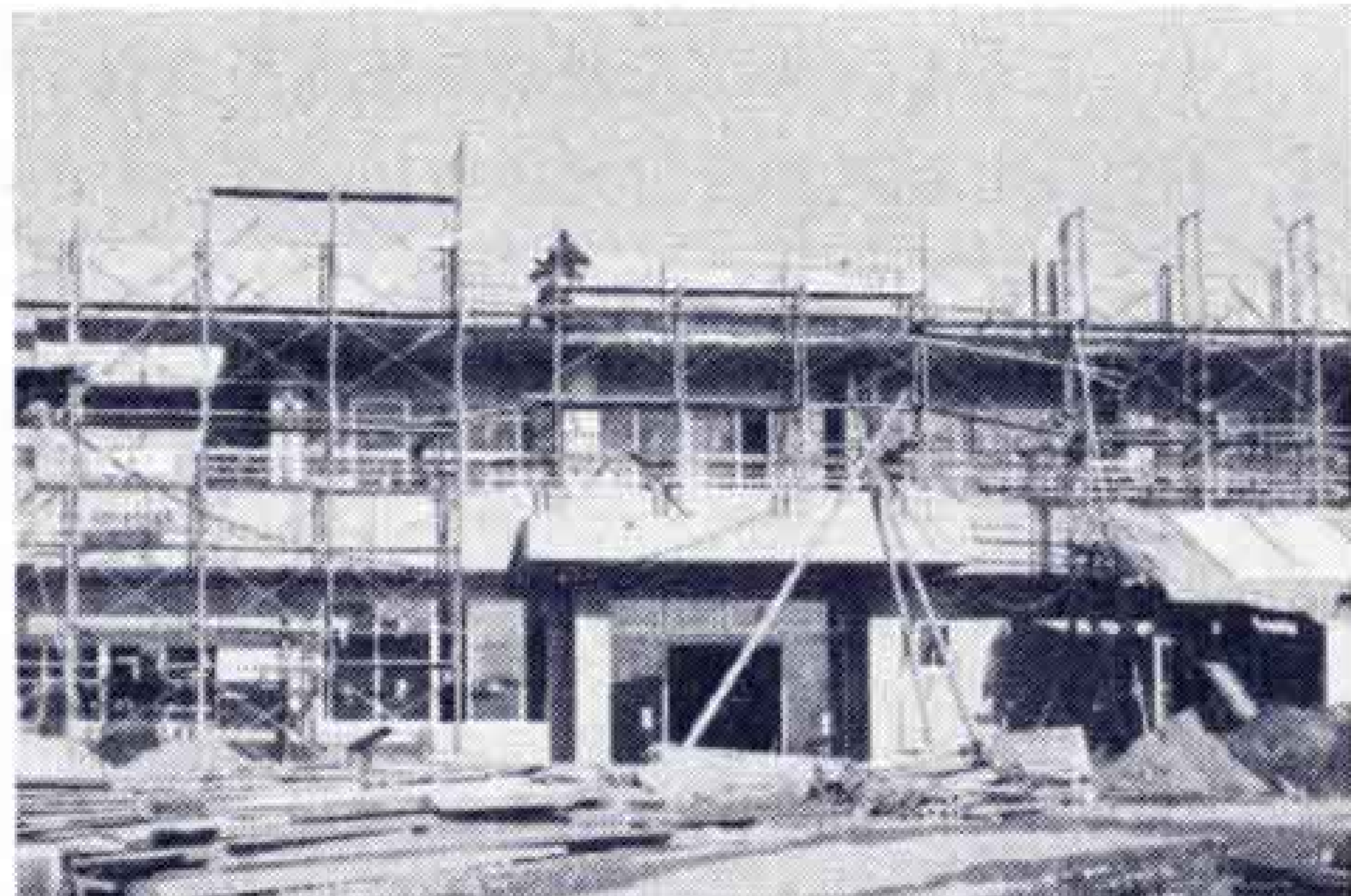


雨の消防出初式

——三年連続——

市消防出初式は、一月十三日午前八時三十分から市庁舎南側で開かれ三年連続、雨というめずらしい記録をつくりました。

この日、肌をさす冷たい雨の中で八百五十三人の消防団員と四十七台の消防車が勢揃いして式典が開かれ、四百七人の優良団員が表彰されたあと、消防演技や吉原本町通りで分列行進が行われ、ズブ濡れの出初式でした。



完成近し田子浦福祉センター

61歳以上のお年寄りの憩いの場として、田子浦福祉センターが、もうすぐ完成します。広見町にある福祉センターに次ぎ2番目のこの施設は、大広間、和室6室、訓練室や売店、風呂を備えた鉄筋コンクリート2階建のセンターです。付属施設として、25坪のプールもあります。オープンは4月1日の予定です。



「どんど焼」を楽しむ子どもたち

1月14日から15日朝にかけて、岩松地区のかりがね堤など各地域で、「どんど焼き」が行われました。

これは昔から伝わる子ども会行事で、正月のしめ飾りや、古いお礼、ダルマを集めて燃やし、この火で焼いたダンゴを食べると一年間かぜをひかないなどの言い伝えがあります。子ども達は、顔をまっかにしてダンゴを焼いていました。



55年富士市成人式



2,631人が大人社会へ

——市成人式——

市内では、2,631人が大人の仲間入り——富士市成人式が1月15日、吉原市民会館と富士文化センターの2会場で開かれました。

両会場とも開会に先だち、市無形文化財の「神楽」が披露されたあと、渡辺市長が「若者らしい情熱と正義感に期待します」と成人者にお祝いのことばをよせました。